

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2012.05.No177

5月号

目次

社北海道建築士会創立60周年 第37回 (社)北海道建築士会全道大会 (函館・松山大会)へのいざない……	7
実行委員会報告……	5
〔総務・事業〕	
青年・女性の窓……	6
〔青年委員会〕	
支部だより……	7
〔旭川・千歳・松山〕	
information……	8

URL <http://www.h-ab.com/>

(社)北海道建築士会創立60周年

第37回 (社)北海道建築士会全道大会(函館・松山大会)へのいざない

大会テーマ 「Rebirth」

サブテーマ - 過去と未来との出会い -



第37回 社団法人北海道建築士会全道大会実行委員長

社団法人北海道建築士会函館支部 支部長 **山内 一 男**

2011年3月11日東日本大震災の発生。2012年は北海道建築士会創立60周年を迎え、翌2013年一般社団法人として北海道建築士会は新たな出発をします。今回2012年の函館・松山大会は、北海道建築士会の100年に向けての第一歩となる大会です。

自治体の財政や地域経済も潤沢な状況ではないなか、震災による原発事故は日本経済の疲弊状況を一層深いものとなりました。建築士の取り巻く社会環境は一段と厳しさを増しており、北海道建築士会会員が自分達の町や仲間の町に深く係わり、建築士の社会的役割を再生させ、社会で建築士の必要性を復活させることが重要になります。

かつての先輩建築士の方々の戦後の町の復興に全力で汗を流した取組みや、町への熱い気持ちを思い起こすとき、今、私たちがやらなければならないことは、建築士の原点に立ち戻り地域貢献の地道な活動をスタートさせることが大切です。そのことが、私たち建築士にとって社会の信頼を手に入れる一番の近道だと認識しなければなりません。

本大会を北海道建築士会の再生と建築士の復活を目指す、力強いスタートの大会とし、建築士それぞれの「リバース・再生と復活」の思いが熱く語り合える大会にしたいと考えます。

[大会プログラム]

月 日	時 間	開 催 内 容	会 場
8月24日 (金)	13:00~13:30	青年サミット 受付	函館市地域交流 まちづくりセンター
	13:30~17:30	青年サミット テーマ:『Road to Rebirth - 歴史的町並みの今を歩く -』	
	18:30~20:30	懇親会	
8月25日 (土)	10:00~	来賓・大会参加者受付開始	ロワジュールホテル函館 3F ホワイエ
	10:30~12:00	理事会	ロワジュールホテル函館 3F 彩光
	12:00~13:00	昼食	ロワジュールホテル函館 3F 彩光
	13:00~15:00	分科会	ロワジュールホテル函館
		A分科会 (女性委員会)	4F 「葵、藤」
		B分科会 (まちづくり委員会)	3F 「彩雲」
		C分科会 (青年委員会)	3F 「瑠璃、翡翠」
15:15~16:30	大会式典	ロワジュールホテル函館 3F 彩海	
16:45~18:15	基調講演	函館北洋ビル 8F	
18:30~20:30	懇親会	ロワジュールホテル函館 3F 彩海	

分科会

A分科会 素材～木材～函館・桧山編

女性委員会

函館には特徴ある下見板張りの古い建築物が多く残っています。主に住宅や店舗として建てられ、擬洋風の佇まいは現在も存在感があります。

A分科会は、そのような建物から素材としての「木材」を取り上げ、地場産材の活用状況や、古い建物の保存と修材のための工夫、維持管理の方法などを学び、過去の木材の使用方法和現在の木材の状況をつなげる事により、建物や、まちを再生する道があるかを探りたいと思います。

B分科会 ゆるやかな まち育て

まちづくり委員会

函館市は、本道さきがけとしての歴史、政治、経済、文化、産業や交通の要衝として道内の発展を引率してきた都市です。

また、幕末の開港以来、港の発展とともに歩んできた街であり、開港にともない西洋の文化がいち早く流入し、多数の史跡や名所により情緒あふれる景観と文化を抱えています。

反面、時代の流れとともに産業の中心となってきた海運や造船、北洋漁業やオイルショック後の衰退など、経済を取り巻く環境は厳しいものもありました。

こうした背景の中にありつつも、歴史や景観などの特色を生かした市民のまち育てではお手本となる取り組みの宝庫であります。

この度のB分科会では実際に街を歩き、函館のまち育てを肌で感じながら「ないものねだり」から「あるものさがし」の“ゆるやかな まち育て”について語りたいと考えます。

見て、感じて、学んで語り合しましょう。

* B分科会は、午前中に街歩きをします。

受付 10:00～10:30

街歩き 10:30～12:00

(グループを作り、グループごとに委員会メンバーと函館支部メンバーが同行して、説明を聞きながら街歩きを行います。)

C分科会 観光都市における建築士の役割「Draw the Future ー歴史的町並みの未来を描くー」

青年委員会

北海道有数の歴史的町並みのある観光都市、函館。

函館には歴史的建物の積極的な活用が現在進行形で進められており、それは古き良きものを残していきたいという強いニーズがあるからです。全道各地でも歴史的建物の積極的な活用は進められていますが、その地域に根ざした建築士たちは、歴史的建物の活用方法に試行錯誤されているのではないのでしょうか。

本分科会では、函館で進められている歴史的建物の活用方法を学んだ上で、全道各地から集まる建築士たちのスキル・視点により、歴史的建物のリノベーション提案を行い、歴史的町並みの未来を思い描くとともに、地域における建築士としての役割(地域貢献)を考えていきます。

基調講演



講師：外交ジャーナリスト・作家 手嶋 龍一

外交ジャーナリスト・作家。元NHKワシントン支局長。
2005年NHKから独立。

9・11同時多発テロ事件に際しては11日間にわたる24時間連続放送を担い、その冷静で的確な分析は視聴者の圧倒的な支持を得ている。

著書には、2001年同時多発テロ事件から2011年福島第一原発事故までの十年間を検証し、日米両国のリーダーシップの有りようを描いた『ブラック・スワン降臨～9.11-3.11インテリジェンス十年戦争～』等多数。

1994年、ハーバード大学の国際問題研究所にフェローとして招聘された。黒衣の国際政治学者と呼ばれたカトリック神父、ブライアン・ヘア教授をはじめ、『文明論の概略』の著者サミュエル・ハンティントン教授、国防次官補を務めたジョセフ・ナイ教授、さらにはリベラル派の代表的論客スタンレー・ホフマン教授らの指導を受ける。

現在は、慶応義塾大学大学院教授としてインテリジェンス論を担当し、外交・安全保障を中心に後進の指導にも積極的に取り組んでいる。

青年サミット 「Road to Rebirth - 歴史的町並みの今を歩く -」

主旨：

異国情緒あふれる街、函館。

かつてその中心として栄えた西部地区は、歴史的建造物が数多く建ち並び、北海道の玄関口として栄えた当時の面影を色濃く残しています。それらの建造物の多くは修繕や改築を繰り返しながら現存しつつ、観光場所として、また地域住民の憩いの場として今なお愛され親しまれています。

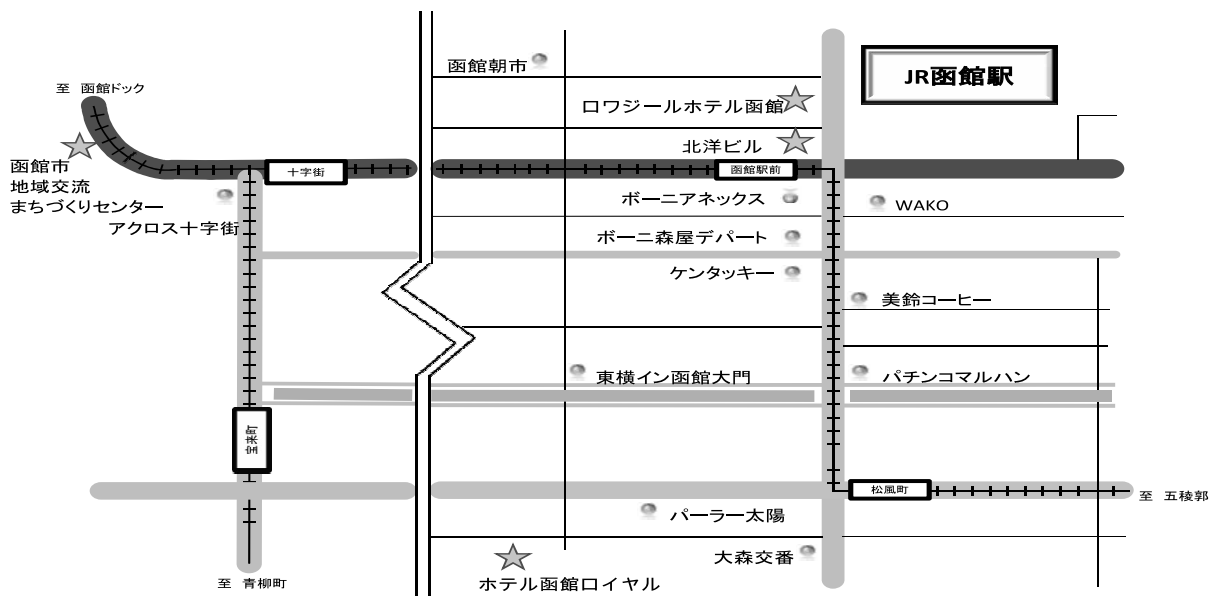
Road to Rebirth - 歴史的町並みの今を歩く -

その西部地区を自らの足で散策し、今なお現存する建物を見て、それらに関わる人たちの声を聞き、その歴史の重みを感じていただき、その経験を通じて過去から未来へ脈々とつながる道の「今」という地点に立つ我々青年建築士が、未来にどのように生かすことが出来るのかを皆で語り合う、そのような青年サミットにしたいと思います。

プログラム

- 13:00～13:30 受付
- 13:30～13:50 挨拶
- 13:50～14:30 函館の今を紹介
- 14:30～14:45 まち歩き 内容説明
- 14:45～16:55 まち歩き
- 16:55～17:30 感想・総評
- 17:30～18:30 会場移動・チェックイン
- 18:30～20:30 懇親会

第37回全道大会会場ご案内



ロワジールホテル函館
〒040-0063
北海道函館市若松町14番10号
TEL 0138-22-0111

函館市地域交流まちづくりセンター
〒040-0053
北海道函館市末広町4番19号
TEL 0138-22-9700

ホテル函館ロイヤル
〒040-0034
北海道函館市大森町16番9号
TEL 0138-26-8181

(社)北海道建築士会創立60周年
第37回 (社)北海道建築士会全道大会 (函館・桧山大会) 参加申込書

	所属支部名	支部
ふりがな	ふりがな	
氏 名	同 伴 者	
住 所	〒 - TEL () - FAX () -	
勤 務 先	〒 - TEL () - FAX () -	

月 日	行 事 項 目	参加行事に○印を記入		参加料・代金 /人	金 額	備 考
		本 人	同 伴 者			
8月24日(金)	青年サミット			/	/	
	青年サミット懇親会費			5,000円		
8月25日(土)	大会参加費			4,000円		
	A分科会					
	B分科会					
	C分科会					
	基調講演					
	大会式典					
	昼食 (弁当)			1,000円		
懇親会			5,000円			
■ 開催地への申込締切りは7月17日(火)を厳守願います。				合計金額		
上記のとおり、関係費 <input style="width: 50px;" type="text"/> 円 を添えて申し込みます。 <div style="text-align: right;">平成 24 年 月 日</div>						

[備考]

- ◎大会参加費は、大会参加者全員に納めていただきます。ただし、会員外の同伴者は免除いたします。
- ◎関係費は、前納制とさせていただきますので、所要事項を記入し、費用を添えて各所属支部へ申し込んでください。
- ◎申し込みの取り消し及び変更は、7月23日(月)までとし、7月24日(火)以降の取り消しは返金できませんので、ご了承ください。
- ◎申込用紙は1名につき1枚、同伴者は連名にて料金を加算してください。(申込用紙はコピー可)

■大会の宿泊については、各自でお手配ください。

総務委員会

委員長
宮原 進 (旭川支部)



総務委員長に就任して早4ヵ月が経過しようとしておりますが、この間平成24年度通常総会なども無事終わることができ、いよいよ本年度の建築士会活動の始まりです。

総務委員会といたしましては関係機関のご協力を頂くと共に各委員会との連携強化を図りながら所管事業の実施に取り組んで参りますが、近年はご承知の通り会員減少に歯止めがかからない状況になっておりますことから、特に組織運営の適正化に係る取り組みを強化して行きたいと考えております。

とりわけ、新会員の加入促進と会員活動の充実を図る方策について具体的な提案を行なうことが必要と考えております。

例えば新会員加入促進の方策としては、CPD制度を活用した取り組みや会員特典の拡大等の方策、会員活動の充実に向けた取り組みとしては、新法人定款で規定されるブロック会の位置付けや運営方針などについて具体的な提案を行なう時期に来ていると感じておりますので、この点についてもしっかりと取り組んで行かなければならないと考えております。

また、先の総会で新法人の定款が承認されましたが、多くの会員の方々においてはその定款の中身や新法人に移行した後の士会の運営がどの様になるのか等について、十分理解がいただけていない部分があると思いますので、各支部の力もお借りしながら積極的に周知を図っていかねばならないと考えております。

先の総会に於いて同様に明らかになった点の、建築士会を運営するに当たっての基本的な基盤であります、財政の強化についても、本年度は財政調整積立金を取り崩し予算を策定しましたが、このことが恒常化する事のないよう、収支について厳しく見直しをしなければならないと考えております。

平成25年度からは一般社団法人として新たな第一歩を踏み出すこととなりますことから、会員の皆様におかれましても様々なご意見、ご希望、アイディア等お持ちのことと思いますので、是非、総務委員会及び事務局にお寄せいただきますようお願い申し上げます。

事業委員会

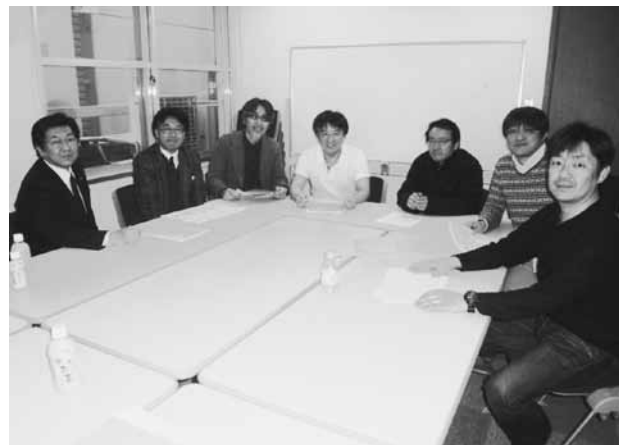
副委員長
内海 純一 (札幌支部)



3月の総会で御承認を頂いた事業計画に基づき、「一級建築士学科試験（7月22日実施）」の受験者講習会を7月7・8日の二日間、本部共用会議室を利用して計画しています。講師は事業委員会委員での実施を予定していますが、環境に関しては外部から設備設計一級建築士の方にお問い合わせする方向で進めています。テキストの選定・オリジナル模擬テストの作成・各科目の講習時間配分を含め委員会で調整中です。試験直前の短期講習として、中身の濃い講習会にしたいと考えています。

また、2・3月に開催した寒地建築技術講習会は、「大地震への備えと耐震性能向上リフォームのポイントと解説」とのテーマで、全道9か所、受講者目標250名で計画実施しました所、259名の参加と若干の増で終了いたしました。開催支部の皆さまには準備等御協力を頂き有難うございました。今回の開催で55回を数える寒地建築技術講習会ですが、来年以降の講習会については、支部への意向調査やアンケートなどを行い、支部ニーズの把握に努め、今後の開催方法・開催地・テーマなどの方針を8月頃までに決めていきたいと考えていますので、御協力をお願いします。

平成23年度の会員数が 353名の準会員を含め5,052名になりました。会員減少に歯止めをかける一策を、事業委員会の役割や方向とも掛け合わせて考えていきたいと思っております。



青年委員会

全道青年委員会連絡会議 の報告

委員長

針ヶ谷拓己

3月23日(金)の通常総会にて、青年委員会の事業計画及び予算案が正式に承認され、青年委員会の事業が、いよいよ、本格的にスタートいたしました。その第一弾として、「全道青年委員会連絡会議」が、3月24日(土)、札幌市民ホールにて、全道各支部から56名の青年建築士が集まり開催されました。前半の連絡会議では、平成24年度の事業方針並びに事業計画及び予算の説明等を行い、後半の研修会では、青年委員会という組織の取りまとめはもちろん、これからの会社を担っていく参加者(青年建築士)のため、組織づくりやリーダーシップ育成を目的とした「チームビルディングセミナー」を行いました。

□連絡会議

1. 事業方針

「建築士会活動の推進、

アピール・・・。

そして建築士(会)

のブランド力アップ」

“地域社会や生活者” “建築士”

“建築士会員” から、「いいね！」

と感じていただけるよう、

“地域貢献” “スキルアップ”

“仲間づくり” という基本活動の拡充を促していくとともに、その活動を広く社会へアピールすることにより、建築士(会)のブランド力アップに貢献する。



2. 事業計画

①全道青年委員会連絡会議

日時 平成24年3月24日(土)

場所 札幌市民ホール

②青年建築士の集い

日時 平成24年5月19日(土)

場所 旭川ターミナルホテル

内容 旭川駅舎周辺の見学及びブロック玩具によるまちづくり

③建築士の日イベント

日時 平成24年7月1日(日)

場所 札幌駅前通地下広場

内容 青年活動のパネル展示及び市民参加型イベント

④全道大会青年サミット

日時 平成24年8月24日(金)

場所 函館市地域交流まちづくりセンター

内容 歴史的町並の今を歩く

⑤全道大会C分科会

日時 平成24年8月25日(土)

場所 ロワジュールホテル函館

内容 歴史的町並の未来を描く

□研修会

単なる人の集まりである「グループ」から、真の「チーム」へ、そして更なる大きな成果を上げることのできる「高業績チーム」をつくり上げるための要点を、具体的な説明と、実習を通して学んでいきました。

講師に株式会社サポルテ代表取締役の塚田康祐氏をお招きし、初めに、あなたの組織のメンバーについて、出身地・誕生日・趣味を知っていますか?という問いからスタートし、「チーム」とは、目的と目標を共有して、その達成に向けて同じ方向を目指して相乗効果を発揮している人たちの集団であり、「グループ」とは違うことを説明していただきました。途中、今のあなたの組織は「チーム」になっていますか?という投げかけがあり、苦笑する受講者が多かったのは印象的でした。

改めて自分たちの組織を見つめ直すことのできる貴重な時間と

なったことはもちろん、組織の目標をみんなで再確認できた場となり、各々の明日への活動に向けてモチベーションを高めた形でセミナーを終えることができ、今期青年委員会事業のスタートに相応しい研修会となりました。



□懇親会

青年委員会が新組織となって初の懇親会でもあったことから、①各支部のPRの場を設け②会場が盛り上がり③被災地東北のために何かをしたいという思いから企画が進められ「地場産土産によるチャリティーオークション」が行われました。各支部、各ブロックからそれぞれ地場産土産を持ち寄り、それぞれが土産を披露PRし、支部対抗でオークションを行いました。かなりの盛り上がりとともに、高値での落札が続出し、最終的には8万円ほどの金額が集まりました。この収益金はすべて、東北ブロック会の青年建築士連絡協議会へ寄付する予定であります。

「青年建築士の集い」 のご案内

歩いて語ろう・歩いて造ろう
北彩都あさひかわ 一駅周辺一

日時 5月19日(土) 13:30~17:00

場所 旭川ターミナルホテル

申込 (社)北海道建築士会本部

内容 旭川駅舎周辺の見学、駅周辺開発についてのワークショップ及びブロック玩具によるまちづくり

※詳細は<http://www.h-ab.com/>をご覧ください

旭川支部 事務局総入替え

事務局長
宮原 進



今年の冬は異常に雪が多く、雪解けも遅れておりますので、今後の農作物への影響が大変心配されるところであります。

心配といえば、当初から永年にわたり勤務してくれていた当事務局員の岩間女史と石井女史が3月いっぱいを持って退職することになっておりましたので、事務引継ぎのため3月初めから新人の高嶋、吉本両名が加わり、大変にぎやかな職場環境へと変貌し、事務局で私一人が男性と言う事もあり（まさにハーレム状態）大変恵まれた状況で1か月間過ごさせてもらいました。感謝、感謝

しかしながら、このような恵まれた状況が続くはずも無く、私事で大変恐縮ですが私も4月末をもってこの事務局を去らなければならなくなりました。

心配事といいますのはこのように一気に事務局員が交代することで、事務処理に支障を来たしはしないかと言う事ですが、良く考えれば私の思い上がりでした。

新に来てくれる事務局長（安部克歳氏）、局員も優秀ですし、何より私自身が大した仕事をしていなかったと言う事です。

ですから、旭川支部の事務局はこれまでと同様に何ら停滞することはありません。

私事で急遽退職する事になり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご容赦願いたいと存じます。

2年間にわたり各支部の事務局の皆様及び本部の事務局の皆様には大変お世話になり、心から感謝とお礼を申し上げます。

有難うございました。

千歳支部 マッチ棒の家

事務局員
山崎 泰貴



昨年8月に千歳市の防災学習センターで住宅の耐震補強について子供たちと学ぶ「みんなでつくろう丈夫なマッチ棒の家」が開催されました。私は23年度に市役所に入庁したため、建築士会が行う活動に参加するのは、これが初めてでした。「みんなでつくろう丈夫なマッチ棒の家」は、昨年に続いたの開催で、参加した子供たちにはクイズ形式で、「すじかい」の適切な配置を考えてもらったり、実際に模型を作成してもらうことで地震に強い住宅について学んでもらいました。

当日の私は、参加している子供たちの表情や作業風景をカメラで撮影することや、模型作りの補助等を行う担当でした。カメラ撮影については、真剣に話を聞いている子供たちの表情や、楽しそうに模型を作っている姿など、とても良いシーンを切り抜くことができました。模型作りの補助では、子供たちみんなが私の説明に真剣に耳を傾けてくれたので、教える側としても、とても楽しく教えることができましたし、いきいきと楽しそうに作業している子供たちと一緒に作業することで元気をもらえました。

今回のイベントでは、たくさんの子供たちに住宅の耐震補強について理解してもらい、また、建築そのものにも興味・関心を持ってもらうことができましたと思っています。

今後も同様のイベントが開催される予定なので、もっと多くの市民の方や子供たちが建築に対して興味・関心を持ってもらえたらと期待しています。

松山支部 活動を振り返って

事務局長
田畑 裕士



この1年（H23）は松山支部にとっては、事業の多い1年でした。

2月には酪農学園大学の小川教授をお招きし、約70名の町民を前に「松山地域の古建築を活かした景観フットパスのまちづくり公開シンポジウム」を開催しました。

7月は北前船競漕大会（江差島祭り）に出場、また、第32回青函松交流会を当支部主催で江差町で行いました。高野会長も参加し当支部で策定した松山景観フットパスの散策コース、法華寺「八方睨みの龍」の見学、西本願寺別院の改築工事の現場見学、その後懇親会での交流を深め、来年青森での再会を誓い散会しました。

9月は継続事業である青年部の木工教室、そして今年の全道大会「函館・松山大会」に向けて、「釧路大会」に参加し、本番さながらに釧路の実行委員の方々からご教示されたことを生かすつもりです。

12月には大会の実行委員会を立ち上げ、その後各委員会方々が打合せを重ね、「函館・松山大会」ならではの特色のあるものにしたいと頑張っています。

最後に、皆様方には是非「函館・松山大会」へ多数の方に参加していただき、感動のある歴史に刻まれた大会にしたいと考えます。

函館でお待ちしております。



【第32回青函松交流会の様相】

平成24年 一級建築士試験案内

- 〈試験日〉
 ・学科の試験 7月22日(日)
 ・設計製図の試験 10月14日(日)
 〈申込書の配布〉 9:30~17:00
 4月23日(月)~5月14日(月)(土・日は除く)
 各支部にて配布
 〈申込受付〉 10:00~17:00
 札幌 5月7日(月)~14日(月)
 ※札幌のみ12日(土)、13日(日)も受付します。
 旭川・函館・室蘭・帯広・北見・釧路
 5月7日(月)~11日(金)
 ※詳細については、(社)北海道建築士会HPをご覧ください。 <http://www.h-ab.com/>

一級建築士学科試験受験者講習会案内

- 〈講習日時〉 7月7日(土)・8日(日)
 9:00~16:00
 〈講習内容〉 建築計画、建築環境・設備、建築法規、
 建築構造、建築施工
 〈講師〉 北海道建築士会会員等
 〈会場〉 (社)北海道建築士会 会議室
 (札幌市中央区大通西5丁目11番地 大五ビル6F)
 〈定員〉 20名(定員になり次第締め切ります)
 〈受付〉 5月7日(月)より
 〈受講料〉 会員 9,000円 会員外 18,000円
 ※別途テキスト代金がかかります。
 〈問合せ先〉 (社)北海道建築士会本部事務局
 TEL 011-251-6076

道士会の動き

道本部の主な会議等日程

- ◆理事会
 〈第3回理事会〉
 5月25日(金) 14:00~16:30(予定)
 札幌市
 ◆支部長・事務局長会議
 6月2日(土) 14:00~16:30(予定)
 札幌市
 ◆青年建築士の集い
 5月19日(土) 13:30~17:00
 旭川市

編集後記

建築士会の皆様、やっと北海道にも春がやって来たようですね。少々雪が多い今年でしたがやっぱり春は気持ちよくフワフワとした心地よい風と思ったら、猛烈な風雨と共にやってきました。

近年、猛烈なスピードで変化し続ける気がする仕事の環境や関係法令。PC、ネット、情報端末、Cloud等々、覚えた端からまた変化。今年の全道大会は歴史のある函館です。私は初めての地なのでゆっくりと歴史のある町並みを散策したいのですが、やっぱり駆け足なのでしょうね。 情報委員会 天城秀典

CPD認定プログラム(4月認定)

- ◆平成24年北方建築総合研究所調査研究発表会(旭川)
 〈日程及び会場〉 5月17日(木) 10:00~16:30
 旭川市大雪クリスタルホール
 〈単位数〉 午前1単位 午後3単位
 〈問合せ先〉 地方独立行政法人
 北海道立総合研究機構建築研究本部北方
 建築総合研究所
 TEL 0166-66-4218
 ◆建築士のためのipad活用セミナー
 〈日程及び会場〉 5月21日(月) 18:00~19:00
 緑苑ビル会議室(札幌市)
 〈単位数〉 1単位
 〈問合せ先〉 (社)北海道建築士会札幌支部
 TEL 011-232-1843
 ◆一般市民向けセミナー
 建築士が語る家づくりとお金の話~その2~
 〈日程及び会場〉 5月24日(木) 18:00~19:30
 かでる2・7(札幌市)
 〈単位数〉 1単位
 〈問合せ先〉 (社)北海道建築士会札幌支部
 TEL 011-232-1843

平成24年度建築士定期講習(第三期・第四期)のご案内

建築士事務所に所属する建築士は、3年毎に建築士定期講習を受けることが義務付けられています。経過措置期間終了後、はじめての定期講習会です。平成21年度に第1回を受講した方は、今年度(平成24年4月1日~平成25年3月31日)が受講年度となります。

- 〈開催日(予定)〉
 第三期 平成24年
 10月 札幌市、帯広市、函館市
 11月 札幌市、北見市、室蘭市、旭川市、釧路市
 第四期 平成25年
 2月 札幌市、苫小牧市

- 〈受付開始〉
 第三期 8月中旬頃
 第四期 11月中旬頃
 ※詳細は、近くなりましたらHP・会誌等でご案内いたします。また、案内・申込書の郵送も行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。
 (社)北海道建築士会 TEL 011-251-6076
 HP <http://www.h-ab.com/>

情報委員会委員長/岡田 隆
 副委員長/三浦 浩・天城 秀典・神田 光英
 委員/森田ゆう子・岡田 光弘・山下 聡
 用田 史門・高松 徹・道塚 勉

北海道建築士 No.177号

印刷 平成24年4月/発行 平成24年5月

編集・発行 社団法人 北海道建築士会
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
 大五ビル
 電話 (011)251-6076番
 URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
 電話 (011)811-7151番